

GERMANY_BERLIN

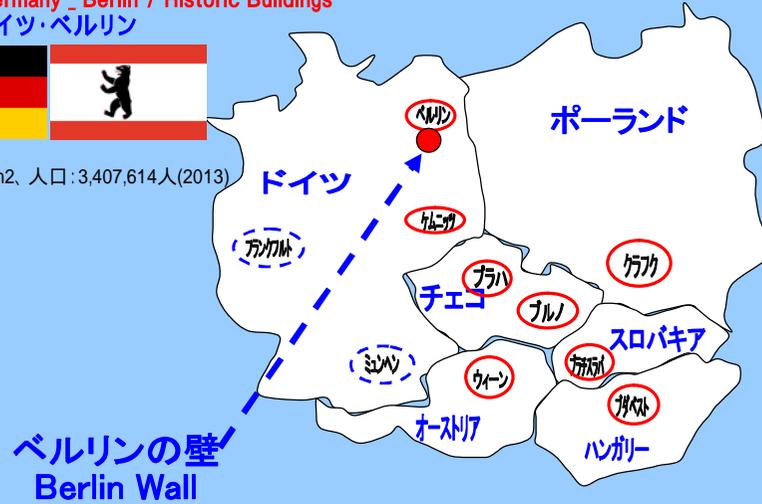
ドイツ・ベルリン_歴史的建築物・ペン水彩画

作成者: 岩崎君男 / Mr. Kimio Iwazaki
 Date: March 2014
 Numazu - City
 Shizuoka - pref. JAPAN
 URL: <http://www.iwazaki-kimio.com>

Germany_Berlin / Historic Buildings
 | ドイツ・ベルリン



面積: 892km2、人口: 3,407,614人(2013)



基本情報の出所: ウィキペディア(Wikiedia)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%A3%81>

ベルリンの壁: Berlin Wall

・ベルリンの壁(ベルリンのかべ、ドイツ語: Berliner Mauer)とは、冷戦の真っ只中にあった1961年8月13日に東ドイツ(ドイツ民主共和国)政府によって建設された、西ベルリンを包囲する壁である。1989年11月10日に破壊され、1990年10月3日に東西ドイツが統一されるまで、この壁がドイツ分断や冷戦の象徴となった。

・ベルリンの壁崩壊とドイツ再統一、更に冷戦の終結にいたりベルリンの壁は名実ともにその存在意義を失った。その一方、ベルリンの壁は米ソ冷戦の象徴的遺跡としての保存の声が高まりシュプレー川沿いの約1.3kmの壁(イースト・サイド・ギャラリー(ドイツ語版))は残された。この部分には「ベルリンの壁建設」にインスピレーションを得た24の国の芸術家118人による壁画が描かれた部分であり、中には「ホーネッカーとブレジネフの熱いキス」を描いた戯画も含まれる。

文化財として保存が決まったものの、経年による劣化と観光客の落書きとその場しのぎの上塗りによる補修で保存は危機的状況に陥った。2000年には寄付によって壁の北側は修復され、2008年に残りの補修には250万ユーロの寄付が必要と試算された。2009年には残る部分の修復に着手している。

その他、ベルリン中央部のニーダーキルヒナー通り沿いの一帯(ゲシュタポ本部や国家保安本部があったあたり)には、再統一後に「テロのトボグラフィー」という博物館が建てられ、この部分に沿って建っていたベルリンの壁も残されている。さらに記念品としてライン河畔のコブレンツに白い壁を2枚移設し、また日本には宮古島市上野のうえのドイツ文化村に2枚移設してある。

2009年行われた世論調査によると旧西ドイツ出身者が旧東ドイツ復興のため税金が上がったこと、旧東ドイツ出身者たちは旧西ドイツとの所得格差に不満を持ち7人に1人はベルリンの壁の復活を望んでいるという結果が出た。

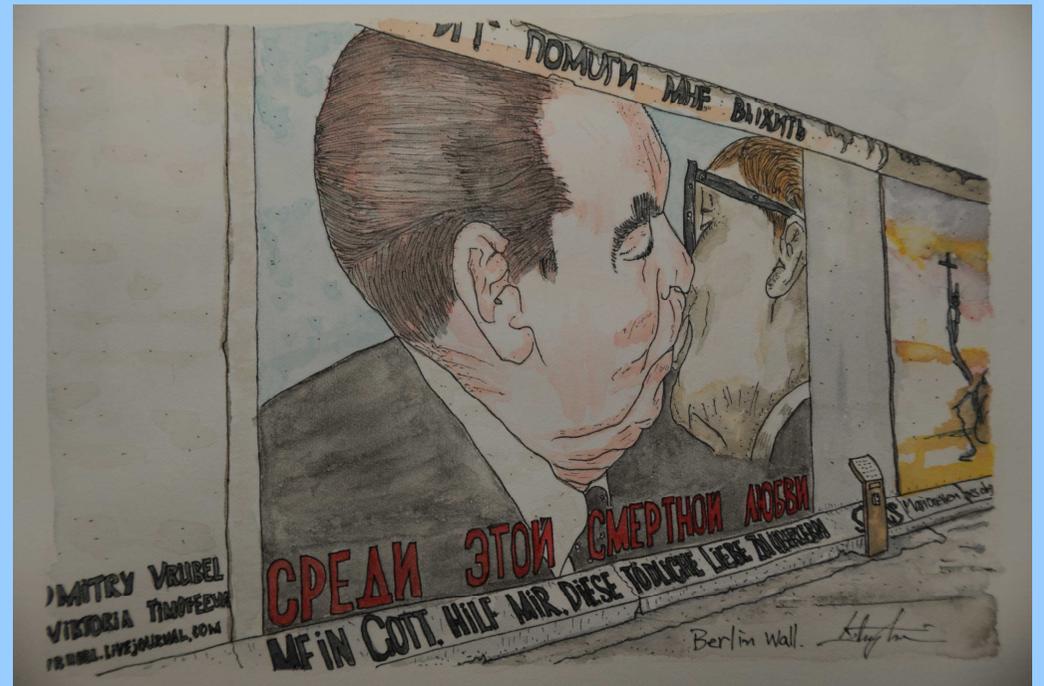
旧ソ連Leonid Breznev と 東ドイツErich Honecker

・レオニド・イリイチ・ブレジネフ(ロシア語: Леонид Ильич Брежнев、ラテン文字表記の例: Leonid Il'ich Brezhnev、1907年1月1日(ユリウス暦1906年12月19日) - 1982年11月10日)は、ソビエト連邦の政治家、同国の第5代最高指導者、1964年のニキータ・フルシチョフの失脚により、ソビエト連邦共産党中央委員会第一書記(1966年、書記長に改称)に就任して最高指導者となり、閣僚会議議長(首相)のアレクセイ・コスイギン、最高会議幹部会議長(国家元首)のニコライ・ポドゴルヌイと集団指導体制を敷いた。1977年から、死去する1982年までの間は最高会議幹部会議長を兼任し、ソ連邦元帥にもなっている。

・エーリッヒ・ホーネッカー(Erich Honecker、1912年8月25日 - 1994年5月29日)は、ドイツ民主共和国(旧東ドイツ)の政治家、ドイツ民主共和国第3代国家評議会議長(在任: 1976年 - 1989年)およびドイツ社会主義統一党書記長、1989年の東欧革命で失脚した。



East Side Galleryと呼ばれる1.3kmの壁裏のシュプレー川沿いを描いています。



ベルリンの壁(旧ソ連Leonid Breznev/東ドイツErich Honecker)の熱いキスを描いています。(Berlin Wall)